

キャンプシュワブでコロナ感染 43 名 でも政府は工事を継続しています



PHOTO : Kana 1月29日、3回の合計で、延 210 台近い
車両を使って工事用資材を搬入



PHOTO : 琉球新報 大浦湾を泳ぐジュゴン個体 B (右側
2019.3死亡) と個体 C (2015.7より行方不明)

【現地報告とパネルディスカッション】

★コロナ禍・コロナ後の世界と辺野古新基地反対運動★

2021年

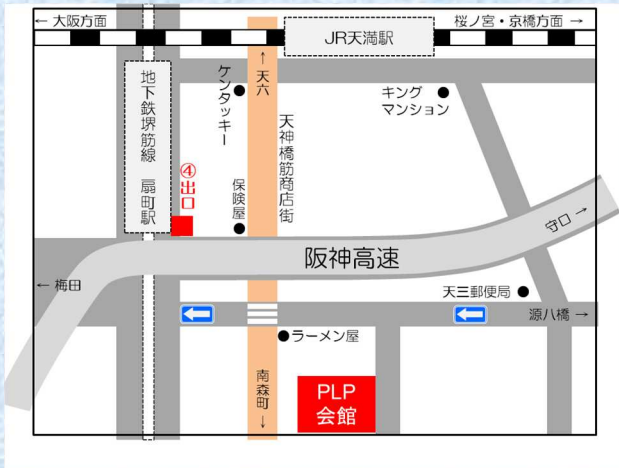
2月21日(日)

時間：13:30 開場 14:00 開会

場所：PLP 会館 (地図参照) 5階会議室

JR 天満駅 地下鉄堺筋線扇町駅 下車 5分

参加費：無料 (当日カンパにご協力をお願いします)



沖縄県は1月20日、キャンプシュワブで43名のコロナ集団感染が発生したと発表しました。しかし沖縄防衛局は工事を止めることなく資材の搬入を続けています。そして1月24日には、辺野古の新基地を自衛隊と共同使用する日米の密約が暴露されました。

沖縄県民の命と健康に全く配慮せず、自衛隊共同使用のための新基地建設に暴走する政権は、日本全土でもコロナ対策を後回しにし、休業補償もたたくに拒否しています。

コロナ後の世界を公正で人類存続のための環境が守られる社会にするため、辺野古新基地建設をぜひとめましょう。現地からの報告と知恵を出し合うパネルディスカッションを行います。ぜひご参加お願いいたします。

(ZOOM 配信も行います。詳細は続報。また現場での感染症対策にご協力お願いいたします。)

☆ プログラム ☆

- 14:00 開会
- 14:05 現地からの報告 ・ゲート前から 金澤知成
(お二人ともリモート参加) ・海上行動から 山崎タヲル
お二人は、大阪アクションで活動し、現在沖縄に暮らしながら
現地の運動に参加しています。
- 15:00 パネルディスカッション
テーマ ・意見書運動と知事不承認後の運動
・沖縄ジュゴン保護と国際的運動
・コロナ禍、コロナ後の世界と新基地を止める運動
・私たちは何をするか。その他
司会・パネラー 五宝光基 陣内恒治 松島洋介 三浦俊一
(いずれも、大阪アクションメンバー)
- 質疑応答
- 16:30 閉会 閉会后 梅田までデモ

連絡先：市民共同オフィス SORA

TEL 06-7777-4935

FAX 06-7777-4925

主催：Stop!辺野古新基地建設！大阪アクション